

議会だより

第65号

発行日／令和2年2月1日

編集／かほく市議会広報特別委員会

ホームページ <http://www.city.kahoku.ishikawa.jp>
発行／石川県かほく市議会
住所／石川県かほく市宇野二81番地

Eメール gikai@city.kahoku.lg.jp
☎ 076(283)7126 FAX 076(283)7188

令和2年 第1回かほく市議会定例会のお知らせ (2/21～3/12)

日	月	火	水	木	金	土
					2/21 初日 本会議 (議案説明ほか) 全員協議会 予算決算常任委員会	22
23	24	25 議会運営委員会	26	27	28	29
3/1	2 議会運営委員会 本会議 (一般質問)	3 本会議 (一般質問)	4 市民文教常任委員会 市民文教分科会	5 総務建設常任委員会 総務建設分科会	6	7
8	9 予算決算常任委員会	10	11 議会運営委員会	12 最終日 本会議 (討論、採決ほか) 全員協議会		

議会からのお願い



議会だより取材のため、腕章を着用した議員が写真撮影に伺うことがあります。
ご理解とご協力をお願いいたします。

議会を傍聴しませんか？

本会議・常任委員会などを傍聴できます。
議会ではどんなことが議論されているの？
お気軽にお越しください。

傍聴の定員は、本会議は30人、各常任委員会・全員協議会は8人です。(受付順)



本会議はケーブルテレビ「かほくチャンネル」で生中継・録画を見ることができます。

委員のひとり言

昨年5月1日に平成から令和へ移り、令和2年といっても、やはり正月を迎えることで新たな年号を感じるのではないのでしょうか。

地球温暖化の影響なのか、去年は台風や豪雨が各地に甚大な被害をもたらしました。令和最初の冬、雪の心配もなく安堵していますが、この先、余計に心配を感じます。合併から17年目を迎え、総合体育館建設という大型プロジェクト事業など、未来に向け夢を持ち、「住みよい・住み続けたいまちづくり」に、議会も知恵を出しながら令和の時代を進まなければならない。
(杉本 成一)

お知らせ

今号から、一般質問のページに、二次元バーコードを掲載しました。
各議員の質問を動画でご覧いただけます。
紙面と合わせて、ぜひご利用ください。

かほく市議会
ホームページはこちら→



※議会だよりは、国会図書館にも送付されています。

※印刷コスト 1部 18円(発行部数 12,200部)

2020. 2. 1

16

第65号

2020年2月1日
石川県かほく市議会

CONTENTS

	ページ
審議された議案等	2
討論	3
一般質問(7人が登壇)	3
常任委員会レポート	11
視察研修レポート	14
議会日程・傍聴案内	16



書き初め(1月8日 金津小学校)

議決結果で賛否が分かれた案件

議案番号	議 案 名 等	議員名（議席番号順）													
		塚本 佐和子	野田 稔彦	大西 潤	丸井 一範	板谷 悦郎	金子 猛	坂井 正靱	高橋 成典	安達 肇	杉本 正一	竹内 幹雄	杉本 成一	寺内 照雄	猪村 博靖
議案第74号	令和元年度かほく市一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	×	－	○	○	○	○	○	
議案第78号	かほく市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	×	－	○	○	○	○	○	
議案第79号	かほく市常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	×	－	○	○	○	○	○	

※ ○＝賛成 ×＝反対 欠＝欠席 退＝退席 安達肇議員は議長職のため採決には加わりません。

討 論

議案に対して1氏が討論

討論って？

議案に対する「賛成」「反対」の旨とその理由を述べて、他の議員を自己の意見に賛同させることを目的とする発言ですよ



にゃんたろう

環境にはない。

こうした状況下では引上げる

いる。

で、格差と貧困が一層広がって

らに、消費税が10％に増税され、

も実質的にマイナスであり、さ

落ち込んでいる中、また、年金

るもので、勤労者の実質賃金が

手当0・05か月分）を引上げ

議員報酬と特別職給与（期末

る条例の一部改正、市常勤特別

職（市三役）の給与に関する条

例の一部改正に反対する。

議員報酬・費用弁償等に関す

議員等の報酬引上げ反対

高橋 成典

討論の文章は、本人の原稿を最大限に尊重し掲載しています

あなたの声を市政に

第4回定例会で7人が一般質問を行いました。

各ページの「二次元バーコード」をスマートフォンなどで読み取ると、一般質問を動画でご覧になれます。

※機種によりご利用いただけない場合があります。

※視聴にかかる通信料等の費用は、ご自身の負担となります。

※動画の保存期間は、概ね1年間です。

「一般質問」って？

市の行政について、議員が市長をはじめとして担当部局に疑問点や見解などを尋ねたりするものです



にゃんたろう

質問者

ページ	質問事項	質問者
4	行政改革大綱の今後の方向性について ほか	大西 潤
5	総合体育館整備事業の今後の課題について ほか	高橋 成典
6	SDGsの取り組みの考え方について ほか	塚本佐和子
7	市内小中学校におけるICTの現状と今後について ほか	丸井 一範
8	外国籍住民の対応について ほか	野田 稔彦
9	国土強靱化地域計画の策定について ほか	金子 猛
10	次期市長選に向けての決意を問う	坂井 正靫

令和元年 第4回 定例会

会期／11月26日～12月13日

審議された議案と審議結果

〔市長提出議案〕

議案番号	議 案 名 等	委員会 付託先	議決結果
議案第64号	令和元年度かほく市一般会計補正予算(第5号)	予算決算	原案可決 (全会一致)
議案第65号	令和元年度かほく市営バス事業特別会計補正予算(第1号)		
議案第66号	令和元年度かほく市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		
議案第67号	かほく市印鑑条例の一部を改正する条例について	市民文教	
議案第68号	かほく市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する 条例について	総務建設	
議案第69号	かほく市公共下水道条例の一部を改正する条例について		
議案第70号	河北郡市広域事務組合理約の一部を変更する規約について		
議案第71号	市道の路線認定について		
議案第72号	市道の路線変更について		
議案第73号	公の施設の指定管理者の指定について		
議案第74号	令和元年度かほく市一般会計補正予算(第6号)	予算決算	原案可決 (賛成多数)
議案第75号	令和元年度かほく市介護保険特別会計補正予算(第1号)		原案可決 (全会一致)
議案第76号	令和元年度かほく市水道事業会計補正予算(第1号)		
議案第77号	令和元年度かほく市下水道事業会計補正予算(第3号)		
議案番号	議 案 名 等	上程 議決日	議決結果
議案第78号	かほく市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	12月13日	原案可決 (賛成多数)
議案第79号	かほく市常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決 (全会一致)
議案第80号	かほく市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		
議案第81号	かほく市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例につ いて		

※議案及び審査の主な内容については、11ページ以降の各常任委員会レポートに掲載しています。

〔市長提出議案（人事）〕

議案番号	議 案 名 等	上程議決日	議決結果
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて ・岡田 正 委員の任期満了に伴い、南 妙子 氏を新たに推薦するもの	11月26日	適 任 （全会一致）

〔議員提出議案〕

発議番号	議 案 名 等	上程議決日	議決結果
発議第3号	市長の専決事項の指定の一部を改正する指定について	12月13日	原案可決 （全会一致）

〔選挙〕

選挙番号	選 挙 名 等	選挙日	選挙方法
選挙第4号	かほく市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙 【選挙管理委員会委員（4人）】 羽田 紀美代（高松）、谷口 裕（夏栗）、松井 廣（内日角）、広田 正俊（遠塚） 【選挙管理委員会委員補充員（4人）】 助実 金司（木津）、東 誠二郎（八野）、新藏 正光（白尾）、谷口 孝三（鉢伏）	12月13日	議長による指名推選

一般質問

*PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）＝公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。

理解、合意を得ながら進める。災害時の避難施設として利用すべての市民がスポーツの魅力を体感できる施設等々、市民の理解、合意を得ながら進める。

業務を進めている。交付金や補助金を最大限に活用し、財源確保を図っていく。

Q 市総合体育館整備事業は約50億円、国の補助制度など財源確保や、市民が利用しやすい施設、使用料、災害時の避難場所としての活用など、市民の理解、合意をどう図るのか。



高橋 成典



河北台中学校周辺(市総合体育館予定地)

質問 1

市総合体育館は、市民の理解と合意が必要
すべての市民が、魅力を体感できる施設に

に反映したい。未実施3項目は検討していく。

質問 3

今後の会計年度任用職員は働きやすい職場環境に

Q 来年度から会計年度任用職員にも期末手当の支給、職務給を導入するが、退職金制度はなく、同一労働同一賃金の観点から今後の待遇改善は。

A 総務部長 制度上の待遇改善だけでなく、職員一人一人が心身ともに働きやすい職場環境の整備に努める。

質問 4

Q 派遣社員の実態は職員確保が難しいため市こども園に、民間からの



元気に遊ぶ子どもたち

派遣社員が29年度9人、30年度2人、31年度5人となっている。保育士は一般企業と比べて月10万円給料が低い。待遇改善が必要。派遣社員を雇用の調整弁として使っていくのか。

A 市民生活部長 正規職員、嘱託職員を合わせても職員確保が難しく、人材派遣会社に委託。今後、待機児童を出さないために必要。

一般質問



大西 潤

Q 市では平成17年に第1次行政改革大綱を策定して以来、さまざまな取り組みを推進してきた。

今年度が最終年度となる第3次行政改革大綱の進捗状況と課題について、また、第4次行政改革大綱における方向性は。

A 市長 第3次の項目数による達成率は78・8％であり、課題としては、財政指標等を元にした行政改革から、高度化・多様化する市民ニーズに迅速かつ的確に対応することを主眼に置いた行政改革に舵を切る必要がある。第4次の方向性としては、市民サービスの向上を念頭に、現状の課題を検証し、日々進化を遂げている民間事業者のノウハウ



*RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の略。これまで人間が行ってきた定型的なパソコン作業を、ソフトウェアのロボットにより自動化するもの。

Q 新たな取り組みは。
A 市長 *RPAの導入に向けた先進事例の調査・研究や導入効果が高いと思われる業務の選定を行う。

質問 1

第4次行政改革大綱の方向性を示せ
新たな視点で行政改革を推進する

質問 2

学校給食費（就学援助制度）を全額支給に
来年度から拡充する

Q 就学援助制度における学校給食費の支給については、市は一部助成としているが、県内19市町中、12自治体では全額助成としている。

就学援助制度の中でも給食費の負担が非常に大きなウェイトを占めていることから、学校給食費の全額助成を実施すべきでは。

A 教育長 就学援助制度は、教育の機会均等の趣旨や子育て支援の充実という観点からも重要であり、支給額は、毎年度、社会情勢や国の基準を参考に支給額を決定している。



学校給食の様子（大海小）

学校給食費については、これまで近隣市町との整合性も考慮し、年間の給食費の7割程度の支給としてきた。県内他自治体の状況を踏まえ、来年度からの拡充に向け、予算編成に反映させる。

一般質問

- Q** 小中学校におけるICT（情報通信技術）の現状と今後について聞く。①パソコンはどの程度整備されているか。②学校におけるWIFI環境の整備はどのように進んでいるか。③ICTの環境整備に十分な予算措置を考えているか。④教職員へのICT教育の対応についてどのような取り組みを行っているか。
- A** 教育長 ①中学校で40台、小学校では学校規模に応じて20台から35台を整備している。②全ての小中学校で整備を進めている。③実用性の高い教材等の整備から順次取り組んでいく。④教職員の情報活用能力を向上させる研修会を開催している。



丸井 一 範

一般質問

- Q** SDGs（持続可能な開発目標）は、2030年までに誰ひとり取り残さない持続可能な社会の実現を目指す。2015年9月の国連サミットで採択された国際目標である。貧困や飢餓の根絶、環境対策、平等の実現など17項目から成る分野を先進国自身が国内政策として取り組むことになっている。本市としてのSDGsの考え方は。
- A** 市長 今年6月に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」での、新しい時代の流れを力にするという視点の中に「SDGsを原動力とした地方創生」が新たに盛り込まれている。



塚本 佐和子

質問 1

学校現場におけるICTの今後について

ICTの活用に積極的に取り組む



パソコンを使った授業

質問 2

災害発生時にSNSを活用せよ

- Q** 現時点では考えていない。近年、災害時の細かな現状について、SNS（ソーシャル・ネットワークキング・サービス）を活用し情報を発信する自治体が増えている。本市でも導入してはどうか。

質問 3

長寿祝い金、敬老年金の今後は

- Q** 引き続き取り組む。本市では、80歳以上の方に毎年3000円の敬老年金、80歳、88歳、100歳になった方に長寿祝い金を支給している。今後も続けるのか。



敬老会の様子

質問 1

SDGsへの取り組みについて問う

第2期総合戦略推進計画に理念を反映させる

現在策定中の第2期かほく市創生総合戦略推進計画に、SDGs達成に向けた観点を取り入れる。

- Q** 具体的な取り組みは。

A 市長 まずは職員の意識を高めるため、職員研修から始める。



SDGsが掲げる17の目標

質問 2

西田博士生誕150周年記念企画の考えは

国際哲学シンポジウムを開催する

- Q** 市のランドマークである西田幾多郎記念哲学館の更なる魅力アップについて問う。①ライアントップとタイアップした企画の意図は。②西田幾多郎博士生誕150周年の記念企画やイベント開催の考えは。③本館の駐車場や思案の小径など、夜の来館者への安全対策は。



A 教育長 ①ライアントップの時間に合わせて、多様なジャンルの音楽イベントなどを開催することで市内外に広くPRしている。②西田博士の未公開資料「西田幾多郎全集別巻」を発刊、記念講演会、国際哲学シンポジウムなどの開催を予定している。③必要と思われる箇所に、照明の増設など対策を講じる。



哲学の杜ライトアップ

一般質問

Q 平成23年に発生した東日本大震災以降、この8年余りで、熊本地震や北海道胆振東部地震、豪雨により全国各地で甚大な被害が発生し、今後、森本富樫活断層による地震や南海トラフ巨大地震の発生も想定される。

A 市長 今年度中の策定に向け鋭意取り組んでいる。

安全・安心な地域づくりが市に課せられた最も重要な課題であり、国土強靱化地域計画を策定することにより、計画に沿って事業を着実に推進する。



事前の備えが重要

また、令和2年度以降は、令和元年から進めている七塚小学校長寿命化工事の継続実施、第2期の地方創生事業の実施をはじめ、総合体育館整備など重要プロジェクトが計画されている。それらを踏まえた上で、今後の財政運営の見通しや事業の実施に係る方向性について、どの



4年連続で人口が増加



金子 猛

質問 1

国土強靱化地域計画を策定せよ 今年度中の策定に向け鋭意取り組んでいる

Q 計画の具体的な内容は。

A 市長 「事前に備えるべき目標」や「起きてはならない最悪の事態」を市の特徴を踏まえ設定し、それらに対する弱点を分析した上で、課題や対応方針を定め、必要となる事業の重点化・優先順位を取りまとめる。

質問 2

Q 今後の財政運営の見通しを問う

A 市長 安定した財政運営を維持できる

Q 市が先駆的に取り組んでいる定住促進事業や子育て支援事業は、4年連続で人口が増加するなど成果はでているが、国などの補助制度がなく、多額の一般財源が必要である。

ように考えているのか。

A 市長 国の補助金や基金の活用、財源の有利な市債の活用などにより、財政負担を軽減しながら各種施策を実施していくことは十分可能である。

また、主な財政健全化指標についても引き続き適正な数値を維持していける。

一般質問



野田 稔彦

質問 1

外国人との交流の機会を増やせないか 地域との交流についても検討したい

Q 出入国管理法の改正により、本市にも外国人労働者がこれまでに以上に増えると予想される。

外国人から、小中学校での対応や地域での生活に関する相談があった場合、通訳を含めた窓口はあるのか。

A 教育部長 特定の窓口はないが、音声による翻訳が可能なタブレット端末を、市民生活課や健康福祉課、消防本部に配置し対応している。

また、転入の際には、「在住外国人のための生活ガイドブック」を配布している。

Q 地域住民と外国人が一緒に安心して暮らしていくためにも外国人との交流の機会を増やすことができるのか。



英語版、中文版の生活ガイドブック

A 教育部長 国際交流事業への参加を呼びかけ、そのPR方法についても調査・研究する。

また、町会区からの情報収集を行い、地域の皆様の協力もお願いしながら、地域との交流についても検討する。

質問 2

Q 孤立している高齢者への対応は

A 市長 互いの顔が見える関係づくりを進めたい

Q 高齢者支援センターは、自ら支援を受けたいと手を挙げる人については、きめ細かな支援を行い成果を上げている。

自分では手を挙げられず孤立している人を把握し、早期に対応するために、高齢者支援センターによる、地区の役員や民生委員、福祉相談員、老人クラブや女性会など身近な方々との地区ネットワークを構築できないか。



高齢者支援センター

A 市長 地区組織、地域活動、高齢者支援センターによる地区ネットワーク構築への取り組みは、地道な積み重ねが大切である。

今後も、地域の中でお互いが顔の見える関係づくりを進めることで、高齢者の皆様が安心して暮らせる地域づくりに努める。



坂井 正 毅

質問 1

次期市長選に向けての決意を問う

初心を忘れることなく全力を尽くす

んだ。

Q 油野市政16年間で振り返ると、3つの町の融和に努め、できることは着実に積み上げ、やらなければならぬことにはスピード感を持って取り組んできたことは、市の内外から大きな評価を得ている。

1期目は、総合計画の策定など市の礎を築き、2期目は、大型商業施設のオープンをはじめ、津幡バイパスの4車線化、県立看護大学インターのフルインター

化など市を大きく前進させ、3期目は、まちの融和に努め、市民の声を吸い上げて、いろいろな事業を一つ一つ積み上げた結果、住みよさランキングでは毎年上位にランクされるなど、まちづくりが新たなステージに進

んだ。
今期4期目は、定住促進策の成果により4年連続で人口が増加し、人口減少、少子高齢化社会にあっても地域の皆様が安心して快適な暮らしを営むことができるようになったと感じる。現在の流れを未来につなげ、大きく飛躍するため、地域の活性化に向けた取り組みを続けていくことが必要である。

次期市長選挙における、油野市長の立候補の意思を問う。

A市長 これまで、住みよさを実感できるまち、安全で安心して暮らせるまちの実現を目指し、市民の皆様の融和を基本としつつ、バランスのとれたまちづくりに全身全霊を傾けて取り組んできた。



元気なかほく市の実現に向けて

市長としての責務を全うすべく、多岐にわたる課題に全力で挑んできた結果、着実に理想とするかほく市像に近づいた。しかし、市を取り巻く環境は依然として厳しく、少子高齢化社会の急速な進展や地方創生へ

の対応、合併特例期間が終了したことによるさらなる財政基盤の強化、総合体育館の整備や北部交流ゾーンの活性化など、今後、取り組んでいかなければならない課題が山積している。引き続き、様々な課題に真正面から立ち向かい、さらに魅力あふれるまちづくりを推し進めるその役割を、ぜひ務めさせていきたいと思います。

市民の皆様が「住み良さを実感できる」「これからも住み続けたい」と思える、そして、市民の皆様が誇りを持てる元気なかほく市の実現のため、初心を忘れることなく全力を尽くす覚悟である。

総務建設常任委員会

市営住宅の指定管理者を決定

おもな審査内容

◎公の施設の指定管理者の指定について

市営住宅の7団地について、令和2年度から5年間、「ヒューマンネット・若草ホーム産業共同企業体」を指定管理者とするもの。

野田委員

指定管理者の選定方法は。

総務課長

プロポーザル方式による。

◎公共下水道条例の一部を改正する条例

関連法令の施行に伴い、排水設備指定工事店を指定する場合

総務建設常任委員会

委員長 竹内 幹雄
副委員長 野田 稔彦
委員 寺内 照雄
杉本 正一
丸井 一範
塚本佐和子

における、成年被後見人等に関する欠格事項を見直すため、所要の改正を行うもの。

塚本委員

欠格事項における「精神の機能の障害」の適用範囲は。

上下水道課長

排水設備工事に必要となる認知、判断及び意思疎通が可能かどうかで判断する。

市民文教常任委員会

印鑑登録証明書 旧姓併記が可能に

おもな審査内容

◎印鑑条例の一部を改正する条例

国が定める事務処理要領の一部改正により、市が発行する印鑑登録証明書について、来年4月から旧姓の併記を可能とし、合わせて、性別の記載欄を削除するため所要の改正を行うもの。

高橋委員

ほかの証明書における旧姓併記及び性別記載欄の削除の状況は。

市民生活課長

一部、従来どおりのものがある。



大西副委員長

市民への影響は。

市民生活課長

11月から開始した住民票の旧姓併記は、すでに数件の申請があったことから、様々な手続きに利便性が図られている。

市民文教常任委員会

委員長 金子 猛
副委員長 大西 潤
委員 猪村 博靖
杉本 成一
坂井 正毅
高橋 成典
板谷 悦郎



内日角橋

寺内委員
野生イノシシに対する経口ワ
クチン埋設に係る費用は。
産業振興課長
県から埋設協力団体である地
元猟友会に対し手当てされている。

野田分科副会長
内日角橋の補修事業（有害物
質対策）の安全対策は万全か。
都市建設課長
有害物質の除去については、
関係機関の技術的支援を仰ぎ、
必要な対策を講じながら工事を
実施する。



七塚子育て支援センターの施設内

市民文教分科会
12月6日開催

おもな質疑

猪村委員
七塚子育て支援センターを改
修し、来年4月に開所する、ひ
まわりこども園分園の児童受け
入れの考え方は。
子育て支援課長
きょうだいが2園に分かれる
ことがないように配慮し、また、
18時以降の延長保育がないよう
に調整する。

市民文教分科会 審査案件		
内容	主な内容	令和元年度かほく市一般会計補正予算（第5号）
・ 後期高齢者医療広域連合納付金	・ 街頭防犯カメラ設置補助金 ・ 民間保育園施設整備補助金 ・ ひまわりこども園 分園整備 ・ いじめ問題対策調査委員会 開催経費 ・ 小学校教科書改訂費用 ・ 空調設備更新設計（アクロス高松、宇ノ気体育館） など	令和元年度かほく市一般会計補正予算（第5号）
令和元年度かほく市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		

予算決算常任委員会
委員長 杉本 成一
副委員長 丸井 一範
委員 議長を除く11名

高橋委員
障害児発達支援事業で、施設
サービスの利用が増えた要因は。
健康福祉課長
これまで各種障害者手帳の所
持が利用の条件であったが、医
師の診断書などでも利用が可能
になった。

高橋委員
子ども医療費助成事業の財源
について、国や県に対しさらに
負担を求めるべき。
保険医療課長
市の負担軽減を図るため、市
長会などを通じて国へ要望して
いる。

予算
決算
常任
委員会

11月26日に予算決算常任委員
会を開催し、議案説明を受け、
質疑を経て各議案の詳細な審査
を分科会で行うこととした。

総務建設分科会
12月5日開催

おもな質疑

丸井委員
七塚中央公園遊具（ローラー
すべり台）改修の内容は。
都市建設課長
ローラー部のみの補修であり、
塩害対策も考慮し施工する。
塚本委員
改修の工期は。
都市建設課長
公園利用者が増える春に向け
て、冬期間中に施工する。



改修予定の遊具（七塚中央公園）

丸井委員
ふるさと納税寄附金が好調だ
が、返礼品の対応は大丈夫か。
総務課長
これまでの実績を基に、今後
必要となる返礼品の数量・金額
を見込んでいる。

総務建設分科会 審査案件		
内容	主な内容	令和元年度かほく市一般会計補正予算（第5号）
・ バス修繕費	・ 若者マイホーム、新婚さん住まい応援補助金 ・ イノシシ捕獲奨励金 ・ CSF（豚コレラ）侵入防止柵設置補助 ・ 商工業振興助成事業補助金（増設1社） ・ 七塚中央公園遊具改修（ローラーすべり台） ・ 農地農業用施設災害復旧費（長柄用水） など	令和元年度かほく市営バス事業特別会計補正予算（第1号）

塚本委員
若者マイホーム補助金など定
住促進事業の成果が伸びている
要因は。
企画情報課長
「定住促進」と「子育て支援
の充実」を2本柱として、様々
な機会や場所で周知を行ったこ
とで幅広く認知された。
今年度は、新たに子育て世帯
をターゲットに映画館を活用し
たPRを実施する。

杉本正一委員
CSF（豚コレラ）侵入防止
柵設置補助について、JA石川
かほくの役割は。
産業振興課長
国・県・市のほか、JA石川
かほくが補助している。
JAは、地元特産豚を取り扱
う市内畜産業の保護を目的とし
ている。

総務建設分科会
七塚中央公園ローラーすべり台改修
市民文教分科会
ひまわりこども園分園を整備

視察研修レポート

議会広報特別委員会

11月6日～7日

議会広報紙の編集・発行

(宮城県川崎町)

川崎町の議会だよりは、「全国町村議会広報コンクール」において、平成30年度に第2位となるなど上位入賞の常連である。

「作り手が一生懸命でないと、読者も一生懸命に読んでもくれない」「編集期限ギリギリまで、色、写真、文字などをチェックしている」と強く言われていたのが印象的で、全国町村議会広報コンクールにおける最優秀賞の獲得を目指して、議会として、また、議員それぞれが積極的に取り組む姿勢を感じることができた。

また、当市議会の広報紙に対するアドバイスも多く頂き、「これまでどおり」と慣例的になりがちな編集作業において、今後参考となる研修内容であった。



読みやすく工夫された紙面

議会広報紙の編集・発行

(栃木県宇都宮市)

宇都宮市の議会だよりは、「中核市議会議長会 議会報コンクール」において、最優秀賞に選ばれた色など、読みやすいよう工夫した色づかいや、手にとりやすい表紙が評価されている。

コンクールの受賞各市の審査員コメントや紙面作成研修などを参考に、随時紙面を見直しており、二次元バーコードの活用、見出しの工夫、ユニバーサルデザインへの配慮などは、当市議会においても、今後の編集作業において参考となる研修であった。

視察研修レポート

議会運営委員会

10月15日～16日

議会改革の取り組み

(滋賀県甲賀市)

・タブレット端末導入
議会ICT推進事業により導入した。

ペーパーレス会議の実現やグループウェアによる情報共有につながった。
一般質問時には、タブレットを活用し、グラフや写真などを議場内のモニターに映すことにより質問内容がわかり易くなった。

議会報告会の開催

議会基本条例に基づき実施している。

参加者の減少などにより、現在は、常任委員会単位で、テーマを決め座談会形式で行っている。

議会改革の取り組み

(福井県越前市)

・議会モニター制度
広く市民の声を聞くために設置した。

モニターは、自治連合会、女性会、商工会などからの推薦を受けた者のほか公募者で構成。

活動内容は、本会議・委員会などを傍聴し、議会運営に関する意見を出し、議会内で検討し、反映させる。

両市議会とも議会の活性化や改革、開かれた議会を目指した運営を行っており、大いに参考となる研修であった。



越前市議会にて

視察研修レポート

総務建設常任委員会

10月2日～4日

文化遺産を生かした観光事業の取り組み

(鹿児島県南九州市)

知覧特攻平和記念館は、年間40万人の来館者がある。

JR鹿児島中央駅、広島県広島駅などで電照看板での告知や、九州管内の観光連盟に企画を売り込むなど記念館の広報活動を行い来館者の増加を図っていた。

文化遺産と観光を結びつけた積極的な取り組みは大変参考となった。

農業者などへの支援制度

(鹿児島県指宿市)

いぶすき農業支援センターは、農業者の利便性向上のためにワンストップサービスに寄与している。

6次産業化を目指している農業者が先進地研修に係る費用の一部支援や、家業を継ぐ者や新たに就農するものに対する支援などがある。

市独自のさまざまな制度があり、基幹産業である農業に力を注いでいると感じた。



指宿市役所にて

まちづくり提案事業

(熊本県宇土市)

宇土市では、崇城大学と連携協定を結び、市は職員のスキルアップ、大学は研修政策へ反映させる実践の場と位置付けしている。

授業の一環として、学生グループが「地域を元気にするためにはどうすればいいか」をテーマに演習を行っている。地域社会の活性化のために様々な課題を大学と地域が連携し解決していく仕組みづくりが重要であると感じた。

「議会だより」をスマホで読む！



- ・アプリから、いつでも・どこでも「広報かほく」と「議会だより」を閲覧できます。
- ・最新号が発行されると、アプリにお知らせが届きます。
- ・ページめくり、拡大縮小なども簡単にできます。
- ・スクラップ機能として、範囲を指定して画像を保存することができます。保存した記事はメールへの添付やSNSなどでのシェアができます。
- ・かほく市ホームページの新着情報が確認できます。ぜひご利用ください！

ダウンロードページには左記の二次元バーコードからアクセスできます。



議会と意見交換してみませんか

議会では、市民の皆様と自由に情報及び意見を交換することによって、市政の更なる発展、議会の活性化を目指し、議会報告会を開催しています。

議会との意見交換をご希望される団体等、お気軽にご連絡下さい。



【問い合わせ先】
かほく市議会事務局
電話 283-7126